

平成17年度、平成18年度及び平成19年度環境対応型高効率ボイラ等導入効果実証事業の平成20年実績

平成17年度220台、平成18年度374台及び平成19年度397台の環境対応型高効率ボイラボイラ等導入効果実証事業の平成20年1月から12月までの実証データを集計した結果、下表のような省エネ及び環境負荷削減効果が得られました。

		平成17年度事業				平成18年度事業			平成19年度事業		
		導入前	導入後実績			導入前	導入後実績		導入前	導入後実績	
			平成18年	平成19年	平成20年		平成19年	平成20年		平成20年	
NO _x 濃度	(ppm)	119	62	65	65	120	63	63	123	62	
ボイラ効率*	(%)	87.5	93.4	93.6	93.3	87.0	93.5	93.4	86.3	93.6	
年間稼働時間**	(Hr)		1,618	1,660	1,550		1,660	1,661		1,665	平成20年合計
燃料(A重油)削減量	(kL)		2,636	2,816	2,599		5,180	5,053		5,986	13,638
CO ₂ 削減量	(ton)		7,134	7,536	7,052		14,015	13,669		16,180	36,901
NO _x 削減量	(ton)		46.7	42.4	43.9		83.2	84.2		118.2	246
計測台数			221	221	220		379	374		397	

* ボイラ効率は実測した値の平均値

** 年間稼働時間は全負荷ベースで次の計算式で算出した想定年間稼働時間の平均値

想定年間稼働時間＝年間燃料使用量÷カタログ燃費(L/h)×(カタログ効率÷実測効率)